

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援教室 わかくさ武庫之荘北			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 8日 ~ 令和7年 11月 26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~ 令和7年 11月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 14日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所周辺の環境が良い。	社会参加に関して、事業所周辺の環境を活かして活動内容を決めている。	家庭でも取り組める活動内容になるよう、常に情報収集し共有していくことが必要である。
2	クラス編成を行っている。	クラス分けをすることで、発達度合いに合わせて利用者さん一人一人に合わせた活動内容（個別課題等）を設定することができ丁寧に関わることができている。 具体的には、トイレトレーニングがしやすい部屋を優先したり仕切りができる部屋の活用を行い特性に応じて集中できる場所、又クーリダウンできる部屋であるか等考慮している。	クラス編成に関して、十分に話し合いを行い発達段階に応じたクラス分けに配慮していく。都度、見直し改善点についても話し合いを設ける。
3	阪特クラスに関しては、基本6年生までを対象としているが、4年生から少しずつ慣らし期間を設けるため併用利用を進めている。	わかくさの仕組みとして、支援学校は基本中学生から系列事業所への移行を行っている。わかくさ大庄・大庄南とに分かれたことにより児童の発達度合い又、本児の特性に合わせた場所での療育を受けることができる。	移行時期には、移行先との情報共有を行っていることや事前に慣らし期間を設けていることの丁寧な説明を行うことが必要。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様に利用時の様子が伝わりにくいことがある。	他の事業所の取り組み方法として、写真をアップ（貼り付けを含む）している事業所も増えている為希望する方もおられる。現在の状況では、写真を撮ることを重視してしまうと安全面が守られないこともありますと考えられる。	連絡ノートや、時間の関係で記載できない日は次の日にメールで丁寧に姿をお伝えできるよう配慮している。時に、保護者の方に動画で撮った姿や写真を残しておいて懇談の際に改めてお伝えさせていただいている。そのことを続けていくことで、少しでも理解に繋がることを期待したい。
2	一人一人に対して、具体的な支援内容になっていることで活動内容に偏りが出てしまうことがある。	1対1の利用者様も多くおられるので、具体的な目標をしっかりと立てて支援を行っている。その中で、安全面を第一優先に考えながらの支援となり活動内容が固定化しやすい面がある。	一人一人に対しての安全面を確保した上で、個別の課題にも日々取り組んでいる為、一つの課題に対しても物を変える、場所を変える等の工夫をすることで利用者さんにとっても楽しい活動となるようにしていく。
3	個別課題を行う中で、専門性の偏りが見られる。	教育機関や相談支援、懇談での保護者からの情報収集を行う中で、個々の発達に合わせた、個別課題に取り組んでいる。	系列内の他事業所で勤務する、専門職にも相談をかけ発達段階に応じたアドバイスをもらうことも考慮していくことでより適切な支援に繋がると考える。

保護者等からの事業所評価の集計結果									
事業所名		公表							
事業所名		発達支援教室 わかくさ武庫之荘北							
公表日					令和7年12月14日				
利用児童数					30名			回収数	
25名									
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2	0	1	部屋の大きさがもう少し大きかったら理想的です。	お子さま・保護者様のニーズに合わせてクラス分け、活動しやすい環境を整えていきます。又、環境を活かした活動内容に考慮していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3	0	5	小人数なので、ご負担が心配ではある。	現場に6名配置していますが、今後も基準以上の人員を配置致します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	0	0	基本的にとてもきれいにしてくれていておもいます。エアコンの汚れだけ気になりました。	日々点検を行っており、掃除・消毒するべき場所を職員間で伝達をし対応していきます。又、他に検討すべき点が発生した場合は、お子さまが過ごしやすい環境を整えさせて頂きます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	0	0		お子さまの成長に合わせたクラス分け、又生活導線を考慮した部屋に設定させて頂いています。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	23	2	0	0		一人一人のお子さまの成長に繋がる個別課題も、保護者様と一緒に考えながら行わせて頂いています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	2	0	0		現在の個々の支援計画において反映させて頂いています。	
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	0	個別の課題・目標が設定されています。	今後も連携強化に努めさせて頂きます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	0	0		現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせて頂きます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせて頂きます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1	0	1	活動内容や行先が多様で色々な経験をさせていただいている。	固定化しないよう、活動内容に考慮していますが、変化が苦手なお子さまいる為固定化させて頂いている場合もあります。又、安全面を最優先にクラスの活動内容を決めている場合もあります。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	6	13	・中々難しいと思いました。特に希望していないので問題ありません。 ・児童館等の交流はないが、地域のこどもとの交流があると思う。	機会設定は行っていませんが、地域の公園を利用する際や、買い物体験等で関わる機会をもっています。	
保護者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		現状維持を継続	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		現状維持を継続	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	7	9	・機会はないですが、十分相談等アドバイスをいただいている。 ・保護者の研修会はないが、特に希望はない。	ペアレントトレーニングの実施は行っておりませんが、隨時保護者様がご家族で行える取り組みを事業所の活動に盛り込み、ご家庭に繋がるようにしています。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1	0	0		現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせて頂きます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	0	1	0		検討課題が出てきた際に、都度対応をさせて頂きます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0		現状に満足せず、お子さまの最善の利益の為、支援内容のさらなる向上に努めさせて頂きます。	

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	3	8	14		要望がありましたら、今後検討させて頂きます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	0	1		今後相談、申し入れに応じた場を丁寧に説明をさせて頂きます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0		保護者様との信頼関係を築く為、丁寧に対応させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	2	0	0	ブログの写真がもう少しあると嬉しい。文章のみで更新頻度があがっても嬉しい。	活動の様子等をブログにて報告させて頂いております。現在は1ヶ月に1度ですが、ご意見を参考に検討させて頂きます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	0		職員に対して周知徹底、改善を心掛けていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	0	0		各種マニュアルについて、懇談時に周知・説明させて頂きます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1	1	3		年2回の火災訓練、年1回の水防訓練を実施しております。実施日に、ご利用と重なっていない場合もございます。できるだけ、全員がどこかで参加できるよう配慮をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	0		安全を優先に活動内容を配慮しております。また、危険な物がないかどうかを随時確認しながら生活環境にも配慮しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	0	1	未事故なので、問題ないかと思います。	怪我、体調不良の児童に関してお電話にて事前にお知らせをさせていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1	0	0	親もこどもも安心しています。	今後も、ご利用者様一人一人が、安心して過ごせる環境を整える努力をさせて頂きます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	0	0	・デイに行くよりも、家で好きなことをしたいという気持ちはあるようです。 ・土曜日は、待ちきれず早く家を出たがってぐぐする程です。	今後も、ご利用者様一人一人が、安心して通いたいと思っていただけるよう努力させて頂きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	安心して通所させていただいています。丁寧に対応していただき満足です。	頂いたご意見が、職員の励ましとなるております。今後も現状に満足せず、更なる支援の向上に努めさせて頂きます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援教室 わかくさ武庫之荘北				公表日	令和7年 12月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用者さんにとって、落ち着く固定の部屋もあるので利用される曜日は優先している。	活動内容によって部屋が狭いといった課題はあるがその際は各クラスで話し合い協力していく必要がある。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	3クラス編成（基本3～4名を職員2人で対応）で行っている為、職員人数に対してのクラス編成を都度考えなおす機会をもっている。	利用者さんの日々の状況によって、職員人数が足りないと思う時があるが、他クラスの協力で改善される。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	利用者さんにとって、最善の環境に配慮している。	安全点検で行った、危ないと思われる箇所の修理等に関して今一度改善策を考えていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	口におもちゃ等を入れることもあるので、その場で対応できる部屋の場合は洗っている。その他の部屋では、除けておき活動後に消毒を行っている。	不要な物が多く、避難経路に物が多くあるので処分を検討。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	仕切れる部屋であれば、対応している。一部屋の場合に関しては、仕切り用にマットを使用する等を行っている。	部屋以外の場所でも、対応を考えていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	定期的に、議題をあげて会議を開いている。正規職員は必ず参加できるようにし、参加ができない場合は事前に意見を提示する流れを設け、会議の場で話をしている。	途中入職の新規職員への周知も課題にある為、書面及び口頭説明を徹底していくことも必要である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	1年に1回、保護者向けアンケートが無い次第評価結果を公表し課題に向けて話し合いを行っている。	今後も継続して行っていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼等の際に、時間を設けている。改善につながるような話し合いは、別の機会に設けている。	送迎時間が早い日もある為、ミーティング内容は必要最低限にし後日改めて議題を回していくことも必要。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	現在、第三者による外部評価は行っていないが、外部の機関との連携は重視している。	状況によって、外部評価を必要とする際は連携を求めていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	今年度は、法人内での研修や他事業所に出向いて参加研修を行っている。又、外部研修がある場合は掲示して知らせている。	今後も継続して行っていく。	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	阪特クラス、地域クラスが分かれている特性を示している。また、活動内容についても個々に合わせた個別課題の設定をしているとともに記載している。	今後も継続して行っていく。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	目標設定が具体的な課題になるよう、懇談にて学校、他事業所、他機関の様子を詳しく把握できるようにしている。	今後も継続して行っていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	モニタリング前後に、支援計画会議を設けて担当職員間で周知、検討を行っている。	朝礼・昼礼にて日々の姿を共有していくこと、又事前に担当者間で話し合いを行うことを継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	日々の記録は、個別支援計画に沿って記載している為周知及び振り返りが行いやすいようにしている。	今後も継続して行っていく。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	利用者さんの情報収集・分析を行い、状況を把握し、支援計画を立てている。 アセスメントでは、子どもの発達状況だけでなく、家族や周囲の環境を適切に把握し、本人と家族の意向を組み合わせている。	今後も継続して行っていく。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	それぞれのねらい及び支援内容を半年間で達成できるかどうかを考慮し具体的な内容にして作成している。半年に1度の見直しをしつつ、課題達成や、課題の見直しがあった際は保護者様に都度知らせている。	今後も継続して行っていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	おおまかな曜日によっての活動内容は、決まっているので細かい内容については事前に話をしている。	日によってチームでの立案が行えていない時もある為、その日の振り返りを次の日には行うことで次回の活動内容を考えていけるのではと考える。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・長期休暇に関しては、できるだけ社会参加のできる活動を盛り込んでいる。又、行事に関してはプログラムに盛り込んでいる。 ・安全面を第一にして活動内容を考える為、固定化することもある。	できる限り発達度合いを合わせるよう配慮しているが、発達段階の差や、安全面の確保を考慮することにより活動内容が固定化してしまっている状況もある。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用者さん、保護者様のニーズにもよるが個別、集団活動に配慮した内容にしている。	今後も継続して行っていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	各クラスにて対応している。	状況等にもよるが、事前にプログラムを決めていることで支援開始前だけではなく事前に話を行えることも可能だと考える。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	支援終了後に、振り返りの時間をとることができない時はあるが緊急を要する事項等は対応している。	支援終了後、送迎や掃除がある為必ずしも振り返りの時間がとれない。その際は、必ず後日振り返りを行える時間を設けることは継続して行うことが必要である。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	療育記録、専門支援記録は、個別支援計画を元に記載している為検証・改善に繋がるようしている。	今後も継続して行っていく。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1度の見直し前に、変更が必要な場合は都度話合いを行い保護者様に伝えている。	今後も継続して行っていく。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0	1ヵ月単位で、組み合わせて行っている。	今後も継続して行っていく。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	個々の発達特性によるが、現物や絵カード等を用いて行う場合もある。	今後も継続して行っていく。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	事前に職員間で話し合った上で、担当者及び、管理者が対応している。	今後も継続して行っていく。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要な協力機関とは、連携をしている。	今後も継続して行っていく。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	HPでの確認、家庭にお渡ししている予定表に記載をお願いしている。連絡調整に関しても、事前に把握している為現在問題はない。	今後も継続して行っていく。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	保護者様からの聞き取り、相談室との情報共有やあまっこファイルの活用を行っている。事業所内、移行の際は書面及び、口頭での情報提供をしている。	今後も継続して行っていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	現在、対象利用者なし	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	研修に関しては職員には、掲示し周知できるようにしている。	研修の機会はあるが、送迎時間や、療育時間に重なることも多く参加できない状況がよくある為難しい。1人でも参加できるようにし、その後研修報告の時間を設けていくことも必要である。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5	社会体験や、活動プログラムにある公園遊びを通じて関わる機会を設けている。それぞれの利用者さんが、個々で交流している情報は共有している。	交流として、設定する機会を設けてはいないがニーズとして出てきた場合は検討が必要である。

	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	協議会には、法人の代表が参加し内容を共有している。	今後も継続して行っていく。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や、又ノート、メール、電話にて適切に伝えている。	今後も継続して行っていく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	保護者様から、研修や参加できる行事等のお知らせがあった際は全利用者様に配布等の情報共有を行っている。	今後も継続して行っていく。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行っている。又、質問があつた際には都度対応を行っている。	支援プログラムについては、作成後説明を行っていく。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	利用者さんの、日々の姿から好きな活動を取り入れることを意識している。又、懇談の際に保護者様の意向を必ず確認し共有している。	今後も継続して行っていく。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	直接提示し、確認を行っている。	今後も継続して行っていく。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	都度、対応を行っている。	今後も継続して行ていく。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	現在、家庭の事情により参加できない等の意見もあり実施の見込みはない。	開催して欲しいという意見が出た際は、検討していく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	状況に応じて都度、対応を行っている。	今後も継続して行っていく。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	HPにて、ブログを月1回掲載している。	今後も継続して行っていく。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・保護者様に事前に確認を行う等、適切に行っている。 ・書類関連に関しても、保管に留意している。	今後も継続して行っていく。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	保護者様に確実に伝わりやすい伝達方法を確認し、把握している。	今後も継続して行っていく。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	プライバシー保護を希望される保護者の方もおられるので、招待する等の事業運営はできていない。地域の公園を利用する際は、コミュニケーションを図っている。	今後も継続して行っていく。
非常時等の対	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	それぞれのマニュアルを、懇談の際に提示し周知を行っている。	今後も継続して行っていく。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	年間で計画し、実施している。	今後も継続して行ていく。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	保護者様に協力のものと、常時服薬の変更があった場合に提出をお願いしている。又、ノート記載でも情報共有を行っている。	今後も継続して行ていく。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	行事等で、普段提供しないもの等がある際は必ず確認を行い、保護者様と再確認も行っている。	今後も継続して行ていく。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・おろし忘れ防止対策に関して、部屋に利用者さんが確実に入ったかどうかをボードにて確認。又、車内でもダブルチェックを心掛けている。 ・よく行く場所での危険箇所の報告、新しく行く場所に関しては下調べを行った上で安全が確保できるか職員と検討をしている。	・おろし忘れ防止対策を今後新職員が入った際に周知が必要である。 ・安全点検は現在1年に1度となっているが、都度気づいたことがあれば報告し合うことが必要。現在、報告はしているので対応待ち。

応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・避難訓練をした際に、連絡ノートとブログにて避難時の様子を共有している。	懇談時に、取り組みの説明を行っているが、今後変更等があれば随時知らせていくことが必要。(おろし忘れ防止の件について等)
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	1年に1度ヒヤリハットの見直しを行う機会を設け検討している。また、朝礼（日誌）にて職員間で周知できるようにしている。	ボードを活用し、担当職員を決めて職員全体会が周知、検討できるよう改めて行っていくことが必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年に1回、及び新人職員が入ったタイミングで虐待防止研修を実施している。年度によって、利用者さんも状況が変わってくるので重視させる項目も変えている。	今後も継続して行っていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	必要ある場合は、保護者様了承の上、放課後等デイサービス計画に記載している。又、日々の記録に時間帯も記録として残している。	今後も継続して行っていく。